

「ICRP-103 に基づく韓国の原子力発電所に対する線量拘束値の原案」

Hee geun Kim, Korea Electric Power Research Institute (韓国)

設計段階における線量拘束値については、次のような議論がなされている。

- ・ 韓国の原子力発電所の設計における集団線量の例
 - 集団線量の目標値：1.0 person·Sv/unit·yr
 - 原子力発電所の設計時の線量予測値：0.76 person·Sv/unit·yr
- ・ 韓国原子力安全委員会 (KINS) の安全要件 (線量拘束値)
 - 最大個人線量：5.0 mSv/yr、 平均線量：2.0 mSv/yr
- ・ 韓国の原子力発電所の設計における線量拘束値の例
 - 最大個人線量：10 mSv/yr、 平均線量：2.0 mSv/yr
- ・ 職業被ばく線量の予測値
 - 最大個人線量：7.0 mSv/yr、 平均線量：0.84 mSv/yr
 - 線量拘束値には適合しないが、関与する作業員は最小限であり、運転／保守期間における作業員能力 (capability) を増す。

運転／保守 (O/M) 段階における線量拘束値については、次のような議論がなされている。

- ・ 線量限度：100 mSv/5years (平均で 20 mSv/yr)
- ・ O/M に関する線量拘束値：線量限度の > 80% (16 mSv/yr)

公衆に関する線量拘束値については、次のような議論がなされている。

- ・ 公衆の構成員に対する線量拘束値案
 - 単一原子炉ユニットに関する線量拘束値：0.1 - 0.2 mSv/yr
 - サイトに関する線量拘束値：0.6 mSv/yr
 - 必要ならば、サイトに関する線量拘束値は削除する